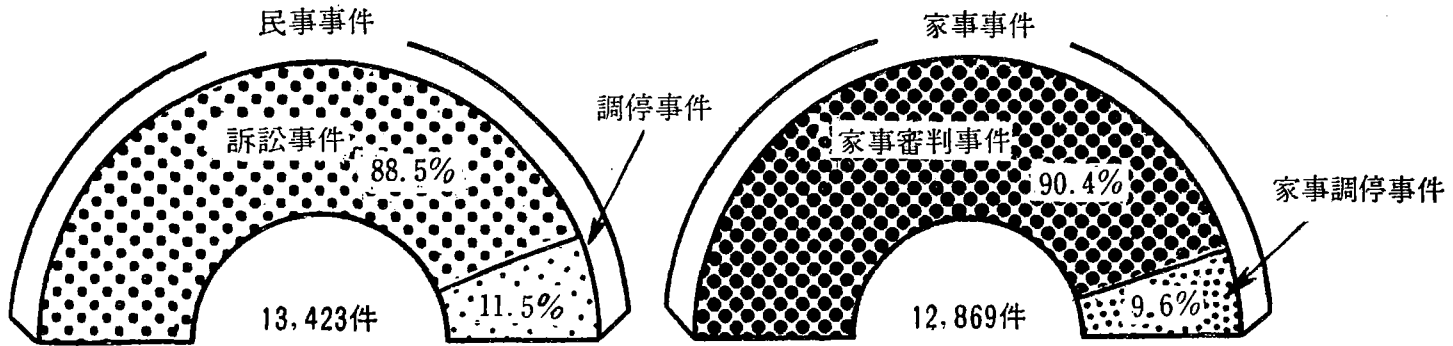


## 107. 検 察 と 裁 判

犯罪およびその他法令違反によるものは年々増加し、県下検察庁で受理した人員は昭和26年よりも35年には3万2千人も多くなった。また、一方裁判も社会の複雑化によって民事、家事、刑事の各事件とも増加し、中でも刑事事件が最も増加したがこれは交通違反によるものが多く占めているためである。

### 民事事件と家事事件

(昭和35年)



### 1. 検察事件受理人員

年	総 数	旧 受	新 受				
			計	他の検察 庁より	家裁より	通 常 警察より	その他
昭和26年	49 803	3 049	46 754	11 587	176	34 181	810
27	45 684	2 375	43 309	10 446	121	31 781	961
28	49 334	1 256	48 078	12 823	103	34 248	904
29	56 220	628	55 592	16 099	170	37 699	1 624
30	60 766	1 497	59 269	15 554	234	41 624	1 857
31	53 951	1 694	52 257	11 546	265	38 681	1 765
32	63 474	553	62 921	17 354	478	42 845	2 244
33	72 682	525	72 157	18 692	764	51 018	1 683
34	79 067	802	78 265	19 606	1 305	55 783	1 571
35	81 833	558	81 275	22 435	1 637	55 879	1 324

千葉地方検察庁調

### 2. 裁判受理件数

年	民 事 事 件		家 事 事 件		刑 事 事 件 被告人員数	少年保護 人員数
	訴訟事件	調停事件	家 事 調停事件	家 事 審判事件		
昭和26年	1 741	...	1 062	12 020	...	6 013
27	...	...	1 069	10 337	...	5 585
28	7 304	...	1 082	10 464	3 417	5 284
29	9 690	1 476	1 071	11 248	3 359	5 636
30	9 521	1 656	1 161	10 317	3 762	5 281
31	9 773	1 656	1 150	10 881	3 679	5 485
32	10 515	1 607	1 323	11 238	33 631	6 943
33	10 854	1 594	1 346	10 551	38 226	9 027
34	11 853	1 641	1 231	11 047	49 404	13 059
35	11 884	1 539	1 239	11 630	49 604	16 145

千葉地方裁判所調 (注) 昭和32年以降の数に略式手続によるものを含む。